

平成 2 5 年 第 4 回

江戸川区教育委員会定例会会議録

日 時：平成 2 5 年 2 月 2 7 日（水）午後 1 時

場 所：教育委員会室

委員長	吉 野 弘 保
委員長職務代理者	松 原 秀 成
委員	早 川 大 府
委員	土 田 アイ子
委員（教育長）	浅 野 潤 一

事務局	教育推進課長	土 屋 典 昭
	学務課長	住 田 雅 一
	指導室長兼教育研究所長	建 部 豊
	学校施設担当課長	永 井 博 史
	統括指導主事	浜 田 真 二

書 記	教育委員会事務局	
	教育推進課庶務係長	丸 山 継 典
	同 主査	岩 生 裕 治

吉野委員長	開会時刻 午後 1 時 ただ今から、平成 2 5 年第 4 回教育委員会定例会を開催いたします。本日は 1 名の方から傍聴の申し出があります。傍聴を許可してもよろしいでしょうか。 〔各委員了承〕
委員長	傍聴人の入室を許可いたします。 〔傍聴人入室〕
委員長	日程第 1、署名委員を決定いたします。松原委員と早川委員にお願いいたします。 日程第 2、教育関係事務報告にまいります。教育推進課からお願いします。
土屋 教育推進課長	教育委員会後援名義の使用承認について 2 件ございます。 1 件目は、第 3 7 回わんぱく相撲江戸川区大会です。日本の国技である相撲を通じて、子どもたちの健全育成を図るという目的で、社団法人東京青年会議所江戸川区委員会が開催するものです。 教育委員会後援申請も 3 7 回目ということになります。あわせて区の後援申請も出されております。5 月 1 2 日の日曜日、江戸川区スポーツセンターで、区内在住、在学の小学生を対象に開催されます。 なお、4 年生、5 年生、6 年生の入賞者は東京都大会に出場ということになります。また、ローカルルールとして、試合後に「ありがとうございました」と言うことで、審判やボランティアへの感謝の気持ち、敗者が勝者をたたえる気持ち、勝者が敗者を思いやる気持ちを表すということを取り入れるということです。 2 件目は、春休み展覧会でございます。関口美術館の企画によるものです。普段は有料なのですが、春休みを子どもたちが芸術に触れる機会にしたいということで、3 月 1 6 日から 4 月 1 4 日までの期間、中学生以下を入館料無料にするということです。教育委員会後援名義の申請は春夏合わせて 3 回目ということになります。 なお、今回は期間中の 6 回、陶芸家による親子陶芸教室を開催するということです。ここだけは材料費として親子 1 組 2 , 0 0 0 円を徴収したいとい

	うことです。以上の２件でございます。
委 員 長	何かご質問、ご意見はございますか。
	〔「なし」と呼ぶ者あり〕
委 員 長	それでは、ただいまの報告を了承したいと思います。次の報告をお願いします。
住田学務課長	中学校選択制の補欠登録者繰り上げ結果について報告いたします。 今年度は一覧にある２１校が抽選対象校となり、公開抽選を行いました。 資料の中の繰上げ可能数というのは、受け入れ可能数から、学域内の入学予定者数と、抽選結果として希望校に入れずに学区域に戻ってくる生徒の数を引いたものとなります。 この繰上げ可能数に対して、繰上げ対象者が上回る場合、繰り上げができなかった方は補欠登録されることになります。 この中で６校については、希望者全員の繰り上げが可能となりました。 また、繰上げ可能数がゼロとなっている５校は、学区域の生徒で満杯になってしまった学校となります。 以上が、補欠登録者の繰り上げ結果でございます。
委 員 長	ご質問、ご意見はございますか。
松 原 委 員	清新一中の繰上げ不可者がゼロというのは、近年なかったのではないですかね。
土 田 委 員	本当は追跡調査をやってみたいなとも思っているのですが、希望したのにそれが叶わず、違うところに、本来のところに行くことになった生徒が、ちゃんと学校に行けているのかということに関心があります。 この年齢で、思いが叶わなかったというのはショックもあると私は思うのです。 あそこに行きたかったということが、ずっと心の中に残っていたという話を聞いたことがあって、その生徒は、親御さんの励ましもあって前向きに頑張って、目指す高校に入ることができたそうなのですが、そうではない子どももいるのではないかなと思ひまして、そういう方へのケアというのは、家

	庭の問題なのかなとは思いますが、何かあるのでしょうか。
学 務 課 長	特に個別の児童・生徒に対して、そういうところまではやっていません。
松 原 委 員	希望校に行けない方は、抽選会の時点で多分納得されているのではないかと思います。
早 川 委 員	私立は試験という形ですが、これは抽選ですし、学区というのも子どもからすれば、親が決めた住所で決まるわけですからね。 いろいろと風評で学校を選択していることもあるかもしれませんが、しばらくはこの制度を続けようと思ったわけですし、その中で改善の余地があるかどうかということで、今、土田委員のご発言もありましたが、そういう調査をしていく必要はあると思います。 中学は部活動が影響しているというふうにも聞いていますが、部活動というのは、学校と学校との間で競い合いもあつたりしますので、自校への愛校心というものに繋がっていくのかなとも思っています。 それから、今回、清新一中の希望者が全員入れたということですが、今後の生徒数の推移の中で、この制度がどう変化していくかというのは捉える必要があるのではないかと思います。
委 員 長	この選択制という、子どもたちに選択肢を与えるという制度は、いい制度だと思っています。 ただ、良い面も悪い面もありますので、その辺をフィードバックしながら、より良いものにしていければいいかなと思います。
浅 野 教 育 長	質問ですが、清新一中では、41人が補欠登録したということですよ。
学 務 課 長	補欠登録自体はこれよりもっと多い数なのですが、私立中学校合格で抜けた方もいて、結果的に待っていた数が41人です。
教 育 長	資料で、清新一中の入学予定者にある90人の中には、抽選で入れた人も入っているわけですよ。そうすると、こんなに補欠がいて、それでいて全員受け入れることができるというのは、今言ったような要素を全く加味しないで抽選したからだということになりませんか。 つまり、確実に入る子どもの数を前提にして計算したうえで補欠というこ

	とにしないと、40人もこういう状態に置いておいて、今ここで初めて連絡するというのは、あまり好ましいことではないと思うのですが。
学 務 課 長	学区域のお子さんも私立に進学したりするのですが、当初の数字を固めに出して抽選しておいて、補欠のほうでなるべく受け入れるというやりかたを今までもやってきております。
教 育 長	少しは私立進学を見込んでいる数字なのですか。
学 務 課 長	見込んでいないです。
教 育 長	これは、ほとんど毎年の傾向ですよ。全員入ることができたという結果の話ではなくて、40人も補欠登録するというのは、入れたからいいといえればいいのかもしれませんが、待っている人から見ると、この時期というのはかなり遅いですよ。もう入学試験もみんな終わっているだろうし。 毎年必ず出てくる要素であれば、少し加味しておいてもいいのではないでしょう。
早 川 委 員	でも校長の立場としては、受け入れ可能人数の中で手堅くいくのではないのでしょうか。予定より多く入学者があったときの混乱と、少なかったときの場合とどちらを選ぶかといえ、校長の立場ではやはり少ない方を選ぶ気がします。 あるいは、結局は校長が受け入れ可能数を出してくるわけですが、私立の進学などは前年の実績を踏まえて、数字を出しているのではないのでしょうか。その数字に対して、たくさん私立へ行くのだからもっと受け入れの数を多くしなさいということ、我々が言えるのかどうか。
学 務 課 長	最初の抽選のときの当選者数、補欠の数については、校長と連絡をとりながら決めております。また、最終的な受け入れ数についても、ここまでは受け入れましょうとか、転入者が多い学校では余裕を持って数字を出しましょう、ということを経理と決めたうえで出しているという状況です。
教 育 長	わかるのですが、清新一中は校長自身も、うちの学校は半分以上が外から来ていると言っているわけですよ。それは傾向として、学区域から来ている子が半分に満たないという状況が続いているから言えるのだと思うんです。

	ね。そういうことを少し勘案すれば、万全を期すということもあるかもしれませんが、もう少し柔軟にやればいいのではないかと考えるのです。
学 務 課 長	学校選択制の改善という話もありましたが、来年度から、中学校でも小学校と同じように、最初から受け入れができない学校と、１５人程度の受け入れが可能な学校、２５人とか３０人程度の受け入れが可能な学校という、３段階に分けた上で募集をかける予定になっておりますので、例えば清新一中のようなところは一番受け入れの多い段階に入れて、最初から当選者数を増やすなどの工夫をしていきたいと考えています。
委 員 長	いいシステムになるよう、よろしくお願いします。 それでは、次の報告をお願いします。
学 務 課 長	次は、学校版もったいない運動のパネル展示についてです。 毎年全校全園で、取り組みの様子のパネルを、写真やグラフなど工夫しながら作っていただいているのですが、今年度も３月２６日から４月１９日にかけて、それぞれの学校の管内の各事務所に展示して、区民の皆様にご覧いただきたいというものです。 それから、６月１日に文化センターで環境フェアが行われますので、その会場に全てのパネルを集めて展示する予定となっております。以上です。
土 田 委 員	これは一つ一つの学校に全て特徴があって素晴らしいんですね。たくさんの方たちに見てもらえる機会をつくるというのは、すごくいいことだと思います。
委 員 長	他にご意見、ご質問はよろしいですか。 本日の予定は以上なのですが、その他に何かあればよろしくお願いします。
土 田 委 員	新聞に出ていたのですが、野菜なんかを切り刻まなくてもそのまま放射性物質を測定できるという、そういう研究を東北大学でやっているということで、こういうものはもっと広がっていけばいいなと思いました。 それから、保護者の方からＰＭ２．５のことをかなり質問されまして、九州なんかはかなり深刻な状況になっていて、ひどい時は学校でも外遊びを控えることも考えなければいけないということも聞きますが、東京ではどうなのでしょうかね。何か情報はありますか。

学 務 課 長	江戸川区で言えば、何か問題があれば環境部から発表することになると思うのですが。
教 育 長	先日の庁議では、全く影響がないという報告でした。
土 田 委 員	保護者の方々も放射能に次いで関心が高いので、ぜひ関係機関と連携をとっていただきたいと思います。
委 員 長	情報は注視しなければいけないですね。ところでインフルエンザの状況はどうですか。
学 務 課 長	インフルエンザについては、1月下旬には、学級閉鎖をしている学校が20校程度に増えた時期がありましたが、2月に入ってからはかなり減りまして、現在は大体1日に2、3校が学級閉鎖をしている状況です。まだ終息したわけではないのですが、相当落ち着いてきている状況だと思います。
早 川 委 員	つけ加えて、私が学校医をしている小学校の校長から昨日連絡がありまして、これは学務課にも届いていると思うのですが、第2学年が19名インフルエンザということで、これがB型なんです。A型は、ほぼ江戸川区では終息傾向にあるのですが、B型が出てきている。 具合が悪いと言った子がいたので早退させたのですが、親が頑張らせて次の日に登校して来て、熱は37度ぐらいたったらしいのですが、校長も帰れとは言えず、そうしたらそのクラスに爆発的にはやってしまったそうです。 学級閉鎖は校長の判断なのですが、校医には相談があります。感染者が10%を超えている、1日1日それが増えていく状況であれば、保護者にとっては、子どもを休ませてひとり家に置いておくわけにいかない所以仕事を休まなければいけないということになるのですが、学校にはその子どもだけではなく、ほかのお子さんもたくさんいるわけだから、その辺からの判断ということになると思います。 私のアドバイスでは10%を学級閉鎖の一つの基準にしています。35人学級だった場合は3人か4人ですね。それは診断を受けた人の数ですけど、それ以外でも有熱者がいて、毎日増えていくといったときは、それを断ち切るために閉鎖したほうがいいです。医者立場で言うと、少し大げさにしたほうがいいと思います。

委 員 長	予防接種の効果もそろそろ切れるのではないですか。
早 川 委 員	切れますね。１回の接種で長く持って４カ月と言われているから、１０月に打った人は２月いっぱいぐらいですからね。 手洗い、うがい、あるいはマスクは、もうやめましょうという話はまだできませんね。特に学校に関しては。
委 員 長	今後も気をつけていかないといけないですね。 それでは、以上をもちまして平成２５年第４回教育委員会定例会を終了いたします。 閉会時刻 午後１時３３分